

令和2年度（2020年度）第4回宝塚市国民健康保険運営協議会 会議要旨

日時：令和3年（2021年）1月29日（金）

午後1時30分から2時45分

場所：宝塚市役所2階 2-4・5会議室

確認 第3回会議に関する質問の回答について

委員から寄せられた質問に対し、事務局から回答を配布したうえで説明した。

<主な質疑・意見>

- （委員） 収納率が重要な論点であるという認識で発言してきた。納付金や標準保険料率を決める際に、将来的な統一に向けた経過措置として、医療費水準だけ反映をやめ収納率は反映させるところが解せない。また、同じ宝塚市の被保険者であるというだけで、標準保険料率が高いことなど、未納者が多い分低い収納率の影響を完納者が受けたり、本来資格証明書の対象として保険給付がなされない人に資格証明書が出されていなかったりするの、保険として不公平。
- （会長） 収納率の反映をやめると、宝塚市に限らず収納率を上げる取組に消極的になる。また、自分たちの健康と医療を守るために助け合っている、収納率が上がれば自分たちの保険料が下がるという意識を互いに浸透させ維持していくのが国民健康保険の精神。これは制度が変わっても同じ。この精神をどうしても理解してもらえない場合に、法律に基づく短期被保険者証や資格証明書の取り扱いが出てくる。宝塚市はこの2つについて、この協議会の議論などを踏まえ、有効活用するべく見直している。むしろ、保険料統一を見据えて、医療費水準の反映をやめて保険者努力支援制度でのコントロールに切り替えたことが、この精神を真っ向から否定するようで衝撃的。
- （委員） 収納率の低さによる保険料率の高さを完納者が被るのは納得できないという考えは、健康で病院受診が少ない人の保険料を安くしてほしいという考えと、本当に困っている人を排除することをいとわない点で同根だと考える。そうではなくて、自分たちの安心のために思いやりや共感をもって支え合うのが社会保険。ただし、悪意で払わない人には相応の措置が必要。また、収納率をさらに向上させるために、滞納整理を進めることが重要。

議題1 宝塚市国民健康保険事業の財政運営について

令和3年度国保事業費納付金の本算定結果を受け、仮算定からの変更内容や財政収支予測について、配布資料に基づき事務局から説明した。

<主な質疑・意見>

- （会長） 書面出席の委員からの、今後赤字が見込まれるのであれば、一般会計からの支援による基金積み増しの議論が必要ではないかとの意見については、どう答えるか。
- （事務局） 1つの選択肢として財政当局と調整していく。
- （委員） コロナ禍による保険税収の減少が見込まれる中、被保険者の負担抑制のためにも重要になってくる保険者努力支援による歳入確保について、どのようにして持ち上げていこうと考えているか。県という広域自治体と市という基礎自治体が協力して取り組む必要がある。
- （事務局） 目に見える交付金と目に見えない効果のどちらにおいても重要だと認識しているので、相対評価の難しさはあるが着実に進めていく。
- （会長） 一通り意見が出たようなので、準備しておいた答申案を検討していただきたい。
- （委員） 答申への反映は難しいが、広域自治体である県に対して、県下の医療費について負担し合うようになった以上、医療費適正化に努める必要があると伝えてほしい。

( 会 長 ) 金額の単位表記の不揃いがあったので、それについては修正するが、この答申案を了承いただける方は挙手を。全員挙手ということで了承いただけた。

報告 その他

データヘルス計画の中間評価に関する資料に寄せられた質問・意見に対し、事務局から回答した。

<主な質疑・意見>

- ( 委 員 ) コロナ禍において集団健診の受診率をどのように維持していくのか、健診受診率に比べて低い特定保健指導実施率をどのように改善していくのか、特定保健指導実施率の低い原因の分析と併せて教えてほしい。
- ( 事 務 局 ) 健診受診率については、外部委託による電話や訪問での受診勧奨を始めている。特定保健指導については、動機づけ支援の率が他市と比べて低いが、健診と同様外部業者の活用を始めている。
- ( 委 員 ) 外部委託については、すればいいというものではない、費用と成果の吟味が必要ということを確認したうえで、他市の事例を参考にして契約してもらいたい。また、コロナ禍における健診のやり方を模索するべく、医師会との連携を強化してもらいたい。
- ( 委 員 ) 医師会として、この協議会を通じて健診率を高めることの意義を確認したので、取組を進めていきたい。
- ( 委 員 ) 外部委託の費用と仕様の比較評価、健診率向上のための健保組合と協会けんぽの合同イベント、WEBによる保健指導など健康保険の事例を参考にしてもいいと思う。業者によるモデル事業など活用しつつ、業者任せにしないことが大事。
- ( 委 員 ) 他にも、AIの活用による対象者ごとの特性に応じた健診受診票の発行や、福利厚生と絡めた動機づけ支援の事例がある。
- ( 委 員 ) 国保連合会はそのあたりに関わっていて、健康保険を含む事例発表会を主催している。そこで発表されたり国保連合会の冊子に掲載されたりする成功事例は参考になる。
- ( 委 員 ) 納付金算定において医療費水準が反映されず、保険者努力支援でマイナス評価が導入されていることを踏まえると、受診勧奨だけではなく出前健診の導入やレセプトデータの活用による重症化リスクの高い人へのきめ細かい取組など工夫してもらいたい。
- ( 事 務 局 ) 書面出席の委員から、コロナ禍が長期化した場合、データヘルス計画を見直す必要があるのではとの意見をいただいている。
- ( 事 務 局 ) 今年度はコロナ禍でイレギュラーな会議運営になったが、皆様のご協力により答申もまとまった。お礼申し上げます。引き続き財政的な難局が続くので、答申やいただいた意見を踏まえて乗り切っていきたい。また、今回が皆様の任期内最後の会議となる。重ねてお礼申し上げます。
- ( 会 長 ) 3年間、皆さんから意見をいただいてとても助かった。私からもお礼申し上げます。